



開町記念日を迎えて

八雲町長 岩村克詔



開町記念日の10月1日を迎えて、町民皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、日頃より町政に対し深いご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

平成17年の合併により、八雲町の創基を記念し、町民が祝い感謝する日として、今年で15度目の開町記念日を迎えるにあたり、この恵まれた自然環境を活かし、基幹産業であります農業と漁業の振興、社会福祉の充実、教育文化の向上など懸命な努力によって、今日の八雲町の礎を築かれた先人、先輩の方々の偉大な功績に対して、深甚なる敬意と感謝を表したいと存じます。

す。

さて、今年には新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、2月中旬から下旬にかけて北海道全土で新規感染者数が増加したことにより、北海道は2月27日に全国初となる道内一斉の臨時休校要請を行い、その翌日には独自の緊急事態宣言を出しました。

また、国は4月7日に東京や大阪、福岡など7都府県を対象区域とした緊急事態宣言を出し、同月16日にはこの対象区域を全都道府県へと拡大いたしました。この間、不要不急な外出の自粛や飲食店などへの休業が要請され、地域の経済活動や住民の生活に大きな影響を与えました。

八雲町においては、一大イ

ベントであります八雲山車行列や熊石あわびの里フェスティバルの開催が中止となつたほか、町内中小事業者が大きな経済的ダメージを受けたところでもあります。

このような状況から、町独自の経済対策といたしまして、町内の中小事業者に対して、公的な融資制度を利用することによって生ずる利子および保証料の補給や感染症の拡大防止措置を行い、事業を継続している事業者へ協力金や応援金の支給を行ったほか、マスク不足が深刻化している状況を受けて、5月下旬から町内全世帯と高齢者施設などへマスクを配布いたしました。

また、消費が低迷する中、

八雲商工会等と連携し、町特産品であります軟白ネギと牛乳の即売会やプレミアム付商品券の発行を行ったところでもあります。

このコロナ禍の中、今後も少子高齢化・人口減少社会への対応など、大変厳しい状況が予想されますが、雇用の創出につながる産業の活性化に向けて、道南初の酪農研修牧場の「大関牧場」の本格稼働への取り組みや、八雲町、八雲商工会、町内事業者の共同出資により本年7月に設立しました「株式会社木蓮」による創業、事業継承、就業に対する支援など、次世代の担い手をしっかりと育成するための取り組みを着実に進めて参ります。

また、昨年度より試験的に実施しております「北海道二世海サーモン」の海面養殖につきましても、事業化の実現に向けた取り組みを進めて参りたいと考えております。

八雲町は、解決しなければならぬ多くの課題を抱えておりますが、太平洋と日本海、二つの海をもつ自然豊かな町として、産業・経済・ひとが活発で笑顔あふれる町になるよう、町政に対する一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。念し、開町記念日にあつたの挨拶といたします。